

事業所名

しずおか福祉の街づくり
ぱっそ

支援プログラム（児童発達支援）

作成日

令和8 年

3 月

15 日

法人（事業所）理念	発達気になる子ども達、その家族、スタッフを含めた地域社会の人たちが、幸せに生きていける社会を創る。					
支援方針	<ul style="list-style-type: none"> ・発達気になる（言葉の遅れ、全体的な遅れ、関わりにくさ等）就学前の子ども達が生活や遊びを通して、心も身体も健やかに成長し、発達していくように支援する。 ・子どもと家族が家庭や地域で、前向きに生活できるように子育てを支援していく。 ・関係機関と連携し、個々のニーズに合わせた支援を行う。 					
営業時間	9 時	0 分から	18 時	0 分まで	送迎実施の有無	なし
5						
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> ・健康で安全に過ごすための具体的な練習を行う。 ・排泄の自立に向けた練習や着替え、片付け等、身の周りのことを自分でできるようにする。 ・構造化することで、生活しやすい環境設定を行っている。 				
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> ・粗大運動遊びを通して、筋力、バランス力、体幹などを鍛え、正しい姿勢を保持する力をつけていく。 ・眼と身体を動かして、人やモノとの距離感や身体の動かし方、動きのコントロールの仕方を練習していく。 ・粗大運動や微細運動を楽しみながら、見る力を養っていく。 ・声の大きさ表を掲示して、適切な声の大きさを意識できるようにしている。 				
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> ・スケジュールや手順に見通しを持ち、自分で確認しながら行動できるように視覚的に伝えている。 ・話の聞き方のポイントを身につけ、一斉指示を聞き行動する力をつけていく。 ・一斉指示は、端的な口頭指示に加え、視覚的指示を併せる。特性に応じて、個別に、より噛み砕いた説明を行う。 ・物、日付、時間、色などの概念を習得する。 				
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ・スタッフや友だちとの関わりの中で、話を聞いてもらえる喜びを味わえる環境を提供することで、自分の想いや考えを表現できるようにする。 ・言いたいことをどのように伝えるのかわからない時は、お子さんに合わせ適切なことばや方法を伝え、一緒に相手に伝える経験を積み、身につけていく。 ・絵本やかるた、ことば遊びなどで語彙を増やし、物や動きとことばを結び付けていくことで、表現を豊かにしていく。 				
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> ・6～8人の集団療育で友だちとの関わり方ややりとりの仕方、一緒に活動する楽しさを経験していく。 ・思い通りにならない時の振る舞いやゲームや競争での勝敗の受け入れの仕方など気持ちのコントロールの練習を行う。 ・指示通りに行動したり、簡単なルールを理解し、守って集団行動に沿えるように促していく。 				
家族支援	<ul style="list-style-type: none"> ・連絡帳、メール、電話等でご家庭やこども園等でのお子さんの様子や困りごと、心身の状況を的確に把握することに努める。 ・日常生活における育児やお子さんの発達に関する相談、助言を行う。必要に応じて面談を行い、ゆっくり話し合う環境を作る。 ・療育のお迎え時に、お子さんの様子や表れ、対応方法、ご家庭でできることの提案などを伝える。 	移行支援	<ul style="list-style-type: none"> ・就学準備プログラムを行い、小学校の教室を再現し、模擬小学校を経験することで、小学校の雰囲気を知ることができる。 ・学校側に伝えるお子さんの特性、様子、支援内容等の情報提供を行う。 ・こども園等とお子さんの様子を伝えあい情報共有をすることで、お子さんがこども園等で自己発揮しながら、園生活を送るための支援方法を一緒に考えていく。 			
地域支援・地域連携	地域のこども園等と連携し、通所時の様子の情報共有や園生活をよりよくするための助言を行う。	職員の質の向上	大学教授による専門的な研修を行い、専門的知識や支援に関するスキルアップを図っている。			
主な行事等	スタッフスキルアップ研修、保護者勉強会（就学、ペアレントトレーニング、性教育）、就学準備プログラム（年長児） 法人内合同イベント（R6広ーい体育館であそぼう）、卒園イベント（R5 ツリークライミング、R6 つみきのそのさんと遊ぼう、R7 大きな窓に絵を描こう）					